

■複層塗材の上塗り

工 程	材 料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	下地調整	下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレイタンス、エフロレッセンスは完全に除去し、含水率10%以下（pH10以下）に管理して下さい。豆板、欠け、不陸、目違いなどはダイヤファイラー、ダイヤセメントファイラー、またはセメンシヤス # 2000等で平滑に補修して下さい。						
2	下塗り	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.10～0.15kg/m <sup>2</sup> 100～150m <sup>2</sup> /缶	1	—	2時間以上	刷毛 中毛ローラー エアレス
3	主材吹き	ダイヤエポソE1液型 清水	20kg 0～0.4%	1.3～1.5kg/m <sup>2</sup> 14～16m <sup>2</sup> /缶	1	—	24時間以上	タイルガン
(4)	(凸部処理)	主材吹き後、20分以内に硬化プラスチックローラーに塗料用シンナーをつけながら軽く押える。(押さえ模様の場合のみ)						
5	上塗り	ダイヤ1液ナチュラルウレタン ダイヤシンナーN スプレー 刷毛・ローラー	15kg 1～2% 0～1%	0.25～0.35kg/m <sup>2</sup> 42～60 m <sup>2</sup> /缶	2	3時間以上	—	刷毛 中毛ローラー エアレス
5	上塗り	ダイヤナチュラルウレタン A液 B液 ダイヤシンナーN スプレー 刷毛・ローラー	12kg 2kg 1～2% 0～1%	0.25～0.35kg/m <sup>2</sup> 40～56m <sup>2</sup> /セット	2	3時間以上 7日以内	—	刷毛 中毛ローラー エアレス

■弾性主材仕様

工 程	材 料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	下地調整	下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレイタンス、エフロレッセンスは完全に除去し、含水率10%以下（pH10以下）に管理して下さい。豆板、欠け、不陸、目違いなどはダイヤファイラー、ダイヤセメントファイラー、またはセメンシヤス # 2000等で平滑に補修して下さい。						
2	主 材	弾性主材の標準仕様により塗装して下さい。						
3	上塗り	ダイヤナチュラルウレタンD A液 B液 ダイヤシンナーN スプレー 刷毛・ローラー	12kg 2kg 1～2% 0～1%	0.25～0.35kg/m <sup>2</sup> 40～56m <sup>2</sup> /セット	2	3時間以上 7日以内	—	刷毛 中毛ローラー エアレス

※間隔時間は、温度23℃、湿度50%の場合です。冬期、夏期では温度、湿度によって間隔時間にかかなりの差異がありますので注意して下さい。

※所要量は下地の形状・状態により変動します。

■適応下地

コンクリート（打放し面、合板型枠面、メタルフォーム面、PCパネル面）、モルタル（刷毛引き面、コテ押し面）、ALCパネル※1、コンクリートブロック※2、石膏ボード・石膏ラスボード、繊維強化セメント板、押出成形セメント板※3

※1印=ダイヤファイラー処理

※2印=ダイヤガンコシーラー等の溶剤系下塗材

※3印=ダイヤガンコシーラー、ダイヤシーラーエゴ等の反応硬化形下塗材

\*改修・金属下地等は各営業所にご相談下さい。

■包装単位

ダイヤワイドシーラー ……………15kg缶

ダイヤアクリルファイラー ……………16kg缶

ダイヤヒスイエボサビ # 100 …… 15kg缶

ダイヤヒスイエボサビ#200 A ……16kg (A液:14.4kg/B液:1.6kg)セット

ダイヤシンナーN ……………16%缶

ダイヤ1液ナチュラルウレタン ……15kg缶

ダイヤナチュラルウレタン ……………14kg(A液:12kg/B液:2kg)セット

ダイヤナチュラルウレタンD ……………14kg(A液:12kg/B液:2kg)セット

■施工・管理上の注意

- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下（pH10以下）になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- 材料が付着乾燥しますと取れませんので、塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないようにして下さい。養生テープは塗膜厚を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。また、吹付け後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃してください。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ります。
- コンプレッサーは必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨（雪）養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 施工後24時間以内に降雨、結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- 本施工に入る前に試験塗りをし、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。

■安全衛生上の注意

- 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 作業中・作業後は充分換気を行ってください。
- 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

- 希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上がらないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合は少なめに希釈して下さい。
- 下地の吸込ムラにより色彩のムラが発生する場合があります。
- 常に結露が発生する地域、時期での施工は避けて下さい。
- 工期間隔時間は充分取って下さい。
- 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 材料の保管は気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- 金属面等塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- シーリング材の上に施工することは避けてください。汚染、ひび割れ、剥離などの不具合が発生するおそれがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を充分確認のうえ施工して下さい。
- 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上り不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ないおそれがあります。
- 施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認ください。

8. 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
9. 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
10. 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
11. 施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認ください。

株式会社

ダイフレックス

株式会社

---

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021

URL <http://www.dia-dyflex.jp>

---

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

取 扱 店

# ダイヤ ナチュラルウレタンシリーズ

## ダイヤ1液ナチュラルウレタン

1液弱溶剤形セラミック変性ウレタン樹脂塗料

## ダイヤナチュラルウレタン

超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドウレタン樹脂塗料

## ダイヤナチュラルウレタンD

超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドウレタン樹脂塗料(弾性)

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

## 耐候形1種

安全性

耐汚染型

防カビ

# ダイヤナチュラルウレタンシリーズ

**ダイヤ1液ナチュラルウレタン** 1液弱溶剤形セラミック変性ウレタン樹脂塗料  
**ダイヤナチュラルウレタン** 超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドウレタン樹脂塗料  
**ダイヤナチュラルウレタンD** 超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドウレタン樹脂塗料(弾性)

特殊薬剤の配合により、カビに対して強い抵抗力を発揮。下地や既存塗膜種類に係わらず、一般外壁から鉄部塗装まで広範囲な用途に優れた耐候性を実現する弱溶剤系の塗料です。旧塗膜に対する適用性が広くシーラー不要で直接施工できるケースが多いので、新築はもとより塗替えにも最適で工期の短縮が図れ、コストダウンにも貢献します。

## 低汚染

セラミック成分とウレタン樹脂成分とをハイブリッド化させることにより耐汚染性に優れた塗膜表面を形成、長期にわたり美観を守ります。

## 防カビ

塗膜に防カビ性を付与させていますので外壁面のカビを抑制するとともにカビによる塗膜の劣化を防ぎます。

## 鉛フリー

鉛を使用していないため環境に優しく安全性に優れています。

## 耐候型

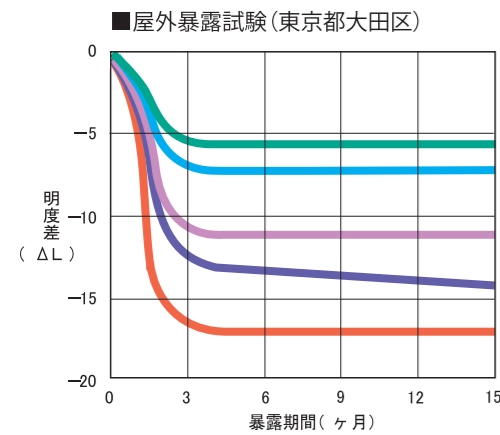
太陽光や雨などの劣化要因に強いセラミック変性したウレタン樹脂が酸性雨や紫外線・熱に対して優れた抵抗力を発揮します。

## 透湿性

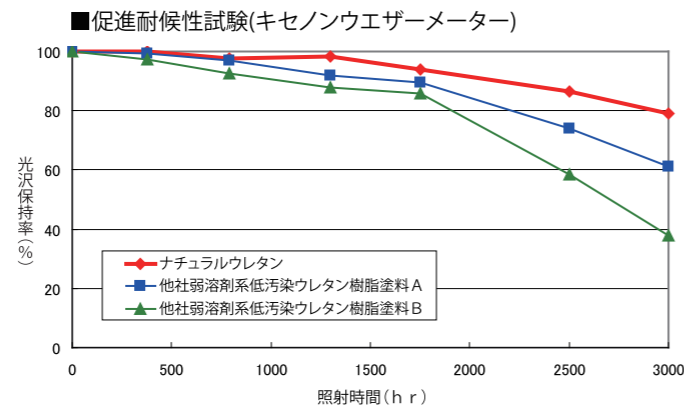
水蒸気を通し水分を通さない塗膜がふくれや室内の結露を防止します。

## 低臭性

溶剤系(強溶剤)塗料に比べ臭気が少なく作業環境の改善に役立ちます。

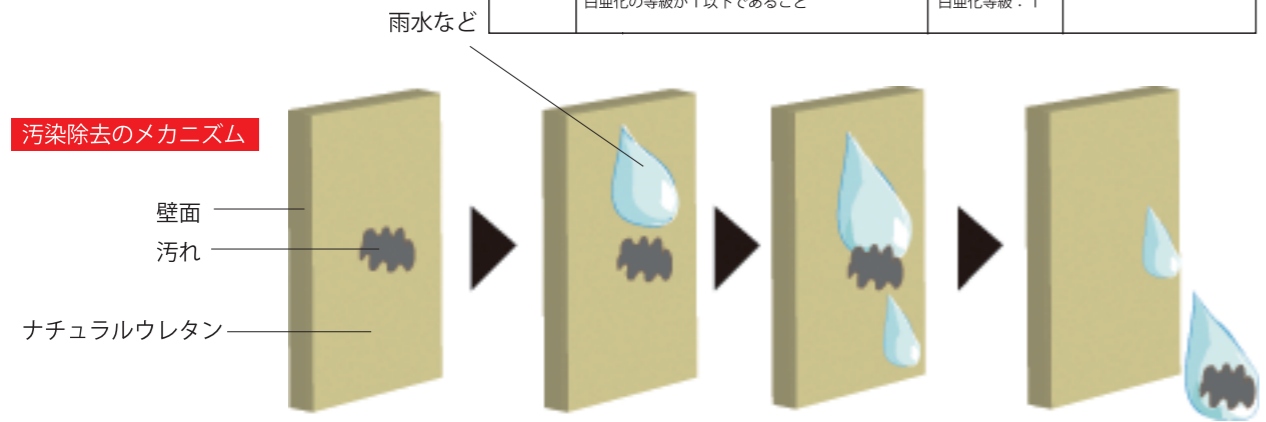


■ 屋外暴露試験(東京都大田区)  
 ナチュラルウレタン  
 ナチュラルウレタンD  
 他社低汚染形A  
 他社低汚染形B  
 汎用ウレタン塗料



■ 促進耐候性試験(キセノンウエザーマーター)

試験項目	品質基準(耐候形1種)	結果	試験方法
耐候性B法	照射時間 2500 時間で、塗膜に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、光沢保持率 80%以上で、変色の程度がグレースケール 3 号以上であり、白垂化の等級が 1 以下であること	外観異常なし 光沢保持率: 81 グレースケール: 4-5 号 白垂化等級: 1	JIS A 6909 : 2003 7.19 ※アクリル系下地



## 標準仕様 一般外壁:新規・改装下地

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	新規	下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレイタンス、エフロは完全に除去し、含水率 10%以下 (pH 10 以下) に管理してください。豆板、欠け、不陸、目違いなどは、ダイヤファイラー、ダイヤセメントファイラー、またはセメンジャス # 2000 等で平滑に補修して下さい。						
		改修	各新規・改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去等を行って下さい。					
2	上塗り	ダイヤ1液ナチュラルウレタン	15kg	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 42~60m <sup>2</sup> /缶	2	3時間以上	-	刷毛 中毛ローラー スプレーガン
		ダイヤシンナー N	スプレー 刷毛・ローラー					
2	上塗り	ダイヤナチュラルウレタン A液	12kg	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 40~56m <sup>2</sup> /セット	2	3時間以上 7日以内	-	刷毛 中毛ローラー エアレス
		B液	2kg					

※ 1 間隔時間は、温度 23℃、湿度 50% の場合です。冬期、夏期では、温度、湿度によって間隔時間にかなりの差異がありますので注意して下さい。  
 ※ 2 所要量は、下地の形状・状態により変動します。  
 ※ 3 下地が押出し成型板、GRC 板等は下塗材としてダイヤガンシーラー、ダイヤシーラーエポをご使用下さい。  
 ※ 4 ALC 面にはダイヤALCファイラー、ダイヤアクリルファイラー又はダイヤファイラーで下地調整を行って下さい。  
 ※ 5 改装下地のクラック充填処理をする場合は下塗材としてダイヤアクリルファイラーをご使用下さい。  
 ※ 6 旧塗膜がアクリルシリコン樹脂塗料又はフッ素樹脂塗料の場合はダイヤセランプライマー-S又はダイヤメンテプライマー-TNを下塗材としてご使用下さい。

## 一般外壁:改修仕様(ひび割れ充填仕様)

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	各改修工事仕様に基づいて、劣化部のケレン、補修、汚れの除去等を行って下さい。							
2	下地処理	ダイヤアクリルファイラー ※	16 kg	0.3~0.5kg/m <sup>2</sup> 0.8~1.0kg/m <sup>2</sup> 0.6~1.0kg/m <sup>2</sup>	1	-	5時間以上 16時間以上	左参照
		中毛ローラー	1.0~1.3%					
		清水	多孔質ローラー 吹付					
3	上塗り	ダイヤ1液ナチュラルウレタン	15kg	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 42~60m <sup>2</sup> /缶	2	3時間以上 7日以内	-	刷毛 中毛ローラー エアレス
		ダイヤシンナー N	スプレー 刷毛・ローラー					
3	上塗り	ダイヤナチュラルウレタン A液	12kg	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 40~56m <sup>2</sup> /セット	2	3時間以上 7日以内	-	刷毛 中毛ローラー エアレス
		B液	2kg					

※シリコンエポキシ樹脂を使用した「ダイヤアクリルエポ」もご使用いただけます。  
 ※ダイヤアクリルファイラーの塗膜が薄い場合、旧塗膜の種類によっては仕上材のリフティングの現象(縮み)が発生する場合があります。特に溶剤・弱溶剤の上塗りを使用する際、ダイヤアクリルファイラーを中毛ローラーで施工する場合は2回塗(塗布量:0.6kg/m<sup>2</sup>以上)を推奨します。

## 鉄部:新規・改装下地

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	塗装下地のゴミ、汚れ、油脂類などを取り除いて下さい。旧塗膜の滑膜を残して、劣化膜やさびをワイヤーブラシ、サンドペーパー等による手ケレンや電動工具により十分にケレン除去し、清掃します。鉄部が露出した箇所や溶剤部はダイヤビスイェボサビ#100、又はダイヤビスイェボサビ#200Aで拾い塗りして下さい。							
2	下地処理(1液の場合)	ダイヤビスイェボサビ#100 ダイヤシンナーN	15kg 3~6%	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup> 94~107m <sup>2</sup> /缶	1	-	4時間以上	刷毛 中毛ローラー
2	下地処理(2液の場合)	ダイヤビスイェボサビ#200A A液 ダイヤビスイェボサビ#200A B液 ダイヤシンナーN	14.4kg 1.6kg 0~2%	約0.16kg/m <sup>2</sup> 約100m <sup>2</sup> /セット	1	-	4時間以上 7日以内	刷毛 中毛ローラー
3	上塗り	ダイヤ1液ナチュラルウレタン ダイヤシンナーN	15kg スプレー 刷毛・ローラー	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 42~60m <sup>2</sup> /缶	2	3時間以上	-	刷毛 中毛ローラー エアレス
3	上塗り	ダイヤナチュラルウレタン A液	12kg	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 40~56m <sup>2</sup> /セット	2	3時間以上 7日以内	-	刷毛 中毛ローラー エアレス
		B液	2kg					

※下地がアルミ、ステンレス(SUS 304以外)の場合にはダイヤハイエポプライマーをご使用下さい。  
 ※ダイヤビスイェボサビ#100、ダイヤビスイェボサビ#200Aの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合は点錆が発生する恐れがあります。  
 ※ダイヤナチュラルウレタンの場合はダイヤビスイェボサビ#200A、ダイヤ1液ナチュラルウレタンの場合はダイヤビスイェボサビ#100を推奨します。